



おおらかに たくましく ひかりかがやく岩中生 ～日山のごとく、大杉のごとくあれ～

朝河貫一博士生誕 150 年顕彰事業 「作文コンクール」 最優秀賞



今年、朝河貫一博士生誕150年にあたります。青春時代から学究の道に進み、渡米後に第二次世界大戦に突き進む日本政府に警鐘を鳴らすなど、世界的な歴史学者として今なお高い評価を得ている朝河貫一博士を身近に感じます。

二本松市内の中学3年生、さらに市外の中学生を対象とした「作文コンクール」が行われ、門馬 幸さんの作品が最優秀賞を受賞しました。

1学期の国語科の授業で、朝河貫一博士の人生について学習しました。博士の内面に目を向け、自分自身の生き方を見つめる作者の思いが伝わります。未来をよりよく生きるために、過去と現在、そして未来を見わたすことの大切さを感じます。

その一念を貫くために

三年 門馬 幸

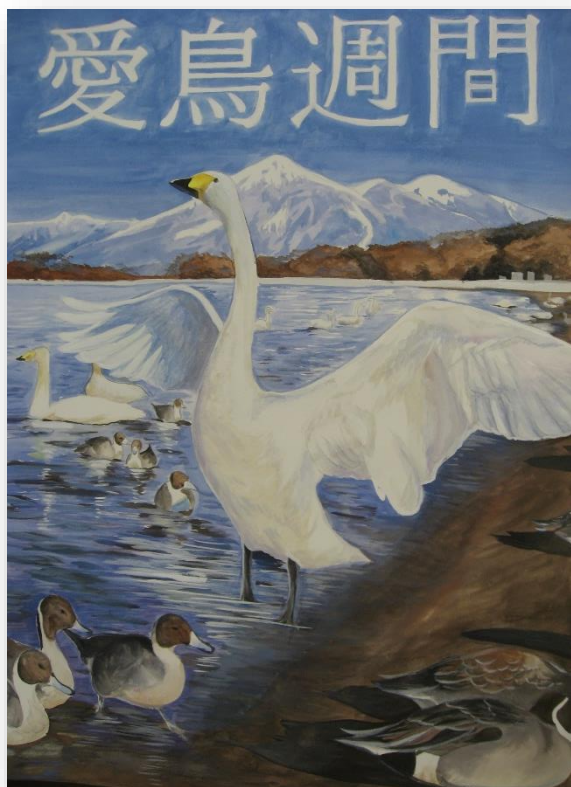
朝河貫一博士。彼が生涯を捧げて残した偉業は、私にとってあまりにも壮大なものだった。世界を客観的に見つめ、ロシアと日本の戦争を止めようとしたこと。昭和天皇に向けて、大統領親書の草案を作成したこと。日本とヨーロッパを比較し、似たところや異なるところを示したこと。想像するだけでもすばらしいことだらけである。今から百五十年前、世界平和という考えが十分に浸透していなかった時代に、彼はどのようにしてこのような考え方をし、行動を起こすことができたのだろうか。彼が多くの人から援助を受けて渡米し、見識を広げることができたからなのか。それとも、彼自身が「天才」「天神」であつたからだろうか。いや、私は、彼自身の努力によるものだ、と思っている。

彼のすさまじいまでの努力は、彼の人生において一貫して見ることができている。彼は、人生を通して、一つの「熱なき光」を追い求めたのである。彼は、研究に没頭し、何度も何度も試行錯誤を行い、限らない努力で精進していた。「貫一」という名前の通り、日本史の研究や世界平和の一念を貫いていたのだ。私には、朝河貫一博士のように、人生を通して貫き通したいと思えるように、やってみてみたいこと、叶えたいことは、まだ決まっていはいない。しかし、私も、努力することはできる。私も、揺るぎない信念と、一つの目標を見つけてそこにむかって努力するということは、きっとできる。彼だって、人生の最初から、大偉業を成し遂げたいと思っていなかったはずだ。あるとき芽生えた小さなきっかけから始まり、日々の努力を積み重ねていき、現在まで語り継がれるようになったのではないだろうか。今回、彼のことを学んでみて、これから私も広い世界に目を向け、見識を広め、精進していきたいと改めて思った。まずは、身近なことから取り組んでいきたい。例えば

私は英語が苦手なので、一生懸命粘り強く勉強を頑張りたい。また、苦手なことだけでなく、得意としている絵を描くことについても、今以上にしっかりと練習をしたいと思う。

彼の素晴らしい点は、努力することだけでなく、その素晴らしい行動力にもあると思う。日中戦争の際、彼は開戦を避けた一心から、大統領親書の草案を作成した。私だったら、そのような大それたことは、到底できない。貫一博士が、学問と研究において、その国に評価されていたことは、誰も考えられないほどの行動だったはずだ。並大抵の行動力ではできない。

私は、彼の人生において、なぜ偉業を成し遂げることができたのか、その根底にあるものとは一体何だったのかについて考えてみた。それは、類まれなる才能はもちろん、惜しみない努力と行動力だと私は思う。どちらかといえば欠けているれば、彼が後世まで語り継がれるような、偉大な業績を残すことはできていなかったであろう。私は、何事も、すぐに行動に移していると思う。しかし、その行動力を発揮するためには、それを支える大きな勇気が必要になってくると思うが、私には、勇気がない。私は、精神面で弱い部分があり、周りからの言動を圧力だと感じてしまい、気持ち落ち込んでしまうときがある。また、大勢の人の前に立って発言をするということも、大変苦手である。今までの私は、これらの弱さを克服するために、様々なことに自分から挑戦してみよう、という勇気をもっていなかった。私には自信がないのだ。では、このまま勇気や自信をもたない人間でいたいのか。いや、そうではない。『熱なき光』の一念を貫き通し、世界平和のために生涯を捧げた朝河貫一。私も博士のように、自分のやりたいことを見つけたときに、信念をもって行動し、たゆまぬ努力で一生懸命取り組んでいくことができるような人間になりたい。



「猪苗代湖の白鳥と鴨を雄大な磐梯山を背景に描きました。白と青のコントラスト、構図がすてきだと思います。水の反射の表現は、自分でもうまく描けました。白鳥の白の表現、羽毛や影、コントラスト、そして遠近感や水の描き方に苦勞しました。」（作者のことばより）

福島県愛鳥週間ポスターコンクール
中学校の部 地方振興局長賞
 三年 門馬 幸さん

岩代ロードレース大会

中学1年女子 (2.5Km)

第2位	SW	11分02秒
第3位	EY	11分43秒
第6位	MF	12分55秒

中学2年女子 (2.5Km)

第1位	HM	9分56秒
第3位	SN	11分12秒
第4位	AH	11分37秒

中学3年女子 (2.5Km)

第5位	EM	11分25秒
-----	----	--------

中学1年男子 (3.0Km)

第4位	ET	11分47秒
第5位	KY	11分58秒

中学2年男子 (3.0Km)

第2位	ST	10分23秒
第3位	IO	11分00秒
第4位	SY	11分47秒
第5位	SY	12分31秒
第6位	SD	13分22秒

中学3年男子 (3.0Km)

第2位	MR	10分33秒
第3位	MS	10分44秒
第4位	MR	10分51秒
第5位	SR	10分55秒

県新人陸上大会

男子1年砲丸投	第2位	YS	9m48
女子1年砲丸投	第4位	SA	7m84
男子2年砲丸投	第5位	SD	10m39
女子2年砲丸投	第1位	EM	12m35
男子1年砲丸投		IS	6m61
男子2年1500m		ST	4:36.21



「ふくしま教育週間」学校公開のお知らせ

期日 11月1日(水)・2日(木)・6日(月)・7日(火)

会場 岩代中学校

日程 8:30より、授業・部活動を公開します。

※ 詳細は、お便りかホームページをご覧ください。
 多くの保護者の皆様に、お子様の活動の様子を
 ご覧いただきたいと思います。



岩代中ホームページ